



▲熱心に勉強する子供たち

Q 教育を最重要の施策に

山谷 仁 議員(新志会)

A 次代を担う人材を育む

Q1 世界的に教育の重要性が見直されている今、村民や村政においても最重要課題であります。児童・生徒に対するしつかりとした教育環境を整備することにより、未来のより良い滝沢、人材育成になると考えます。

そこで基本的な考えを伺います。

A1 教育は未来を担う子ども達や住民の生涯にわたる大きな活動であります。第5次総合計画においても教育に関して「次代を担う人を育てる」「自己実現を支援すること」を掲げています。

国際化や情報化、少子高齢化の進展など社会の著しい変化に子ども達が主体的、創造的に対応できる資質や能力を培うことがこれからの学校教育における極めて重要な課題と捉えています。

子ども達の育成や、生涯学習を通じた住民の自己実現の支援など、教育施策は重要な責務を担っていると認識しています。

学校現場での課題に対応を

Q2 全国で進められている30人以下学級や、ゆとり教育としての学校週5日制、通学路の改善、また学校の安全についての課題に対しての現状と方策を伺います。

A2 30人以下学級については国もその充実を図ることで検討をしています。本村でも滝沢小学校で県の指定を受け1年生が少人数学級を実施し効果も認識しております。

学校週5日制に関しては、各学校で特色ある教育課程を編成実施しており、学力向上対策の一環として先生方の指導力向上対策も行っております。

通学路の安全、改善については全て現地確認をし、関係機関及び各課とも連携を図り児童・生徒の安全確保に努めます。

学校の安全についても児童に防犯ブザーを持たせたり、校内には不審者の防備用具の「さすまた」を備え緊急時に対応し、今年度は、盛岡西警察署と連携し、教職員対象の防犯対策研修会を各学校で実施する予定であります。